

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881
宗教学人日本バプテスト連盟総務部

東日本大震災被災地支援活動の紹介

東日本大震災被災地支援チャリティーコンサートを行いました！

赤塚バプテスト教会（石堂雅彦、河東綾子、石尾芳子）



2014年6月7日、赤塚教会ではフルート奏者古賀敦子さん、チェロ奏者ゲオルギー・ロマコフさんを迎えて、東日本大震災被災地支援チャリティーコンサートを行いました。

古賀敦子さん、ゲオルギー・ロマコフさんはドイツで活動している演奏家です。私たち赤塚教会が東日本大震災の被災地支援募金を続けていることを教会のホームページからお知りになり、ぜひ、支援のためのチャリティーコンサートで協力させてほしい、という連絡をいただき、今回、このコンサートを行うこととなりました。

当日は、あいにくの雨にもかかわらず、震災被災地支援コンサートに80名近い方々がお見えになりました。遠くから近くから、ホームページ、フェイスブック、新聞折り込みチラシなどをご覧になって、年代も、小さなお子さまからご年配の方々まで、たくさんの方がお見えになりました。



素晴らしいフルートとチェロの音色に心動かされ、楽器の持つ繊細さと、音色の豊かな世界に惹きこまれ、あっという間の90分でした。アンケートにも、皆さま快くご記入くださり、本日のコンサートに感動しておられました。おいでになった方の中には、震災支援の名目を知り、わざわざ入院中の病院の外出許可までいただいて、おいでになった方がおられました。本当に感謝なことでした。

「3.11を忘れない！」の思いを共有していただき、皆さん、私たちの祈りに心合わせてくださいました。ご奉仕くださった古賀敦子さんとゲオルギー・ロマコフさんに、心から感謝申し上げます。

また、このような機会をもうけたいと願っています。私たちの教会の支援活動は小さなものかもしれませんが、少しでも現地の活動等に用いられるならば幸いです。

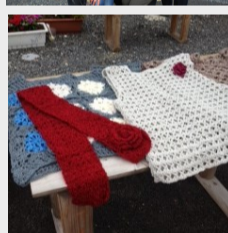
<事務局より> 赤塚バプテスト教会では震災支援募金の担当を奉仕執事が担ってくださっています。皆様の教会での支援の取り組みについてもぜひご紹介ください。 jbcsaigai@bapren.jp

あいあいプロジェクトの2014年度活動について

「あいあいプロジェクト」は、2014年度も全国の姉妹たちと祈りを合わせ、東北の支援活動に協力をしていきます。被災地では将来への不安、また原発事故や放射能への恐れ、長期にわたる仮設での生活の疲れなど、様々な痛みの中にある方々がおられ、その方々を支援し、寄り添う活動を継続して担っている東北地方の教会があります。私たちはその活動につながり、出会ったことを大切に祈りを広げ、主にあって共に歩みたいと願っています。

郡山緑ヶ丘仮設住宅では郡山コスモス通り教会が、月一回訪問支援活動をしています。「あいあいプロジェクト」は今年度、4月、7月、さらに10月、12月、また3月の支援活動への協力を予定しています。また、被災地各地の仮設住宅集会所で行われている手芸サークルへの協力も継続します。主に手芸材料、お菓子の提供などをします。また昨年度、福島移住女性支援ネットワークへ支援金を送りましたが、今後は、被災地で困難や痛みを抱えている移住女性たちの祈りの課題、また支援活動を知り、どのように連帯できるか探りたいと思います。女性連合支援活動の呼びかけ、祈りの要請はホームページ、また、地方連合を通して行います。

<日本バプテスト女性連合 蛭川潤子>



手芸品

原発課題班報告

東日本大震災被災地支援に多大な協力してくれた世界バプテスト救援委員会（BW Aid）主催の世界開発会議が7月5-6日にトルコのイズミルで開催され、日本バプテスト連盟の東日本大震災被災地支援の事例研究報告のために連盟理事会から派遣されて参加してきました。この会議は災害被災地支援や人権擁護の働きに携わるバプテストのワーカー等が世界各地から集まり学び合う時です。

私は東日本大震災被災地への長期的支援について発題しました。長期的支援には、①教会の中心的ミッションと支援というミッションが一つとなるように言葉やプログラムを整える事、②教会が自ら何もかもするのではなく地域と専門団体とのつなぎ役を心がけるという事、③専門団体のケアからも漏れて行きがちな人々と教会は寄り添い続ける事の3つが重要であると、昨年の「東日本大震災と原発事故が問かける宣教・神学フォーラムⅡ」を踏まえ述べました。その原則のもと、具体的には特に長期化せざるを得ない原子力発電所事故被災地域への支援と原子力行政等に対して批判的に立つ教会のあり方について述べました。またこの7月に世界教会協議会から出されたように、世界バプテスト連合（BW A）としての脱原発の声明文への期待も述べました。現在、日本政府が原発と武器を輸出しようとしているトルコでこの発題が出来たことにも意義があると思いますし、ヨーロッパを始めとして多くの出席者から賛同を得ることが出来ました。また夕礼拝では震災から3年を覚える交棒「東日本大震災を忘れない」を世界のバプテストと共に祈りました。

<濱野道雄（西南学院大学神学部准教授）>

発表原稿（日本語）は連盟ホームページの東日本大震災ブログからご覧ください。

現地支援委員会報告

8/1(金)仙台教会にて現地支援委員会が行われました。この会議はオープンな形でおこなっているので、委員のみならず、東北の諸教会から多くの方が出席していただき、今回は計17人での会議となりました。毎回このように現地の教会の方が関心をもって出席して下さることは、本当にうれしく、心強いことです。

この現地支援委員会は、現地の教会が行っている被災者支援活動の情報を共有し、共に考え、共に聖書に聴き、互いに協力する場として、委員会発足以来、ほぼ毎月行われてきました。この三年数か月の間、この委員会の話し合いの場があることで、どれだけ励まされてきたか分かりません。支援者同士のケアという意味合いも、この委員会にはあるのだと思います。いわゆる「支援活動」のみが注目されがちですが、しかしその「支援活動」も、丁寧な意見交換や継続的な情報共有、祈り合いの中でようやく成り立ってきたことであると改めて思われ、主の導きに感謝しています。

現在、現地支援委員会では、現地での活動の様子が分かる「現地支援委員会活動紹介DVD vol.1」を作成し、全国の諸教会・伝道所に配布しています。ぜひご覧いただき、引き続きこの活動にご理解とご協力をお願いいたします。皆様のお祈りとご支援に心から感謝して。<委員長 金丸 真>

震災募金報告

2014年度募金目標額：1,400万円

2014年7月31日現在募金額：433万円

<<4月～7月募金者・受付順・敬称略>> 以下の通り72名(口)の方々から献げられました。感謝申し上げます。

諫早教会、伊都教会、古賀教会、筑紫野二日市教会、洋光台教会、大宮教会、香住ヶ丘教会、門司港教会、神戸伊川教会、東京北教会、福岡城西教会、高知伊勢崎教会、藤沢教会、栗ヶ沢教会、奈良教会、東大阪教会、西南学院中学校・高等学校、調布教会、天野五郎・文子、久保祐子、高松常磐町教会、中野教会、佐賀教会、鹿児島教会、古賀教会、ふじみ野教会、中野教会、恵泉教会、東京北教会、西南学院、赤塚教会、調布教会、鮫島則雄、八幡教会、鹿児島教会、古賀教会、相浦光教会、函館美原教会、大村古賀島教会、平尾教会、全国牧師配偶者会、恵教会、関西黎明教会、大阪ブロック女性会、調布教会、久保祐子、三鷹教会、古賀敦子・ゲオルギー・ロマコフ、日立教会、目白ヶ丘教会、姪浜教会、只左隆康・亀井雅子、古賀教会、西野修平・西野ギター教室、高須教会、鹿児島教会、天野五郎・文子、共生地域創造財団、広島西教会、西南学院大学聖歌隊、中野教会、市川八幡教会、中野教会、東京地方連合一日小羊会、調布教会、丸亀城東町教会、(株)オーエス、野方教会、相浦光教会、古賀教会、小樽教会、鹿児島教会、

